

令和6年度 第2回 国土交通省大阪航空局 入札監視委員会

審 議 概 要

開催日及び場所	令和6年12月10日（火） 大阪航空局 B・C会議室	
委 員	委員長 竹林 幹雄（神戸大学大学院教授） 委 員 増田 達也（大阪工業大学客員教授） 委 員 定岡 由紀子（弁護士）	
審議対象期間	令和6年4月1日～令和6年9月30日	
審議概要		
1. 報 告	入札・契約手続きの運用状況について	
2. 抽出案件	総件数 3件	
	(1) 工 事	一般競争（総合評価落札方式） 1 件
	(2) 建設コンサルタント業務等	一般競争（総合評価落札方式） 1 件
	(3) 役務の提供及び物品の製造等	随意契約（最低価格落札方式） 1 件
委員からの意見・質問、それに対する大阪航空局の回答等	意見・質問	回 答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	抽出した3案件について、参加条件の設定、資格の特定等について審議し、問題無いと判断した。	

審議概要（別紙）

2. 抽出案件

意見・質問（委員）	回答（大阪航空局）
（工事） ○ 1 者応札が多いことが問題になっているところ、今回も 1 者応札ですが応札者数が少ないのはなぜでしょうか。 （建設コンサルタント業務等） ○ 同種のコンサルティング業務を行う業者数は多いと思うのですが、本件も 1 者応札となっているのはなぜでしょうか。 （役務の提供及び物品の製造等） ○ 競争性を確保するために等級拡大をしていますが、拡大した等級の業者は応札がなかったのでしょうか。 （全案件を通して） ○ 官発注は利益率が低く、そのため競争入札が成り立たず 1 者応札が増えているのではないかと。制度の見直し等が必要だと思います。	○ 管制運用に直結する装置であり、複雑なシステムを扱うため難易度が高い工事になり、参加できる実績を持つ企業が多くないという実情があります。 ○ 業者においても人手不足のところ、民発注・官発注で人材の取り合いになっているためだと考えています。 ○ 過去には拡大した等級の業者による応札実績もありましたが、今回はありませんでした。 ○ 本省航空局、東京航空局とも議論していきたいと思います。